

弘前大学学報



第12回弘前大学総合文化祭 よさこい弘大

第 103 号
平成24年10月号

学内ニュース

○平成24年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式を挙	-----	1
○平成24年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式告辞		
	弘前大学長 佐藤 敬	2
○「弘前大学ボランティアセンター」を開設	-----	3
○弘前大学長と新入生保護者との懇談会（札幌）を開催しました	-----	4
○名誉教授との懇談会を開催	-----	5
○弘前大学長と新入生保護者との懇談会（八戸）を開催しました	-----	6
○福島県浪江町町長講演会を開催	-----	7
○旧制弘前高等学校外国人教師館が弘前市の景観重要建造物の指定を受けました	-----	8
○延辺大学の金連姫副教授による特別講演会を開催	-----	9
○弘前大学資料館のオープンセレモニーを開催	-----	10
○第12回弘前大学総合文化祭「テーマ『Supernova』」を開催	-----	12
○テネシー大学マーチン校（UTM）Peggy A. Davis博士が来学	-----	16

諸 会 議	-----	17
--------------	-------	----

人 事

○新任部局長等紹介	-----	19
○新任教授紹介	-----	19
○人事異動	-----	19

主要日誌	-----	23
-------------	-------	----

学内規則等の制定等	-----	24
------------------	-------	----

平成24年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式を挙

平成24年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式が10月1日（月）事務局3階大会議室において執り行われました。

平成24年秋季の入学者内訳は、次のとおりです。

○医学部医学科	20名
○理工学研究科（博士前期課程）	1名
○農学生命科学研究科	7名
○医学研究科	3名
○理工学研究科（博士後期課程）	3名
合計	34名



24年度秋季入学者



告辞を述べる佐藤学長

平成24年度 弘前大学及び弘前大学大学院 秋季入学式 告 辞

今年の夏はことのほか暑さの厳しい日々が続きましたが、ようやく秋の気配を感じられるようになりました。そんな中、本日、ここ弘前大学事務局大会議室において、平成二十四年度秋季入学式を挙行することは、私たち弘前大学教職員にとって大きな喜びとするところです。

まずもって、本日入学の日を迎えられた学部学生二十名と大学院生十四名の皆さんに心から歓迎の意を表するとともに、お祝いを申し上げます。皆さん、入学おめでとうございます。この秋季入学式は春の式に比べると華やかさには欠けるかもしれませんが、私たちの歓迎とお祝いの気持ちには、いささかも劣るところはありません。加えて、この会場では、本学の六十有余年の歴史を造って来られた十二人の歴代学長も、私の後ろから見守っておられます。

私は、弘前大学は教育を重視する大学でなければならないと思っています。もちろん、これは教職員の一人としての立場から、教育を最優先に考える姿勢を全員で共有したいという思いです。しかし、今日の入学式においては、皆さんも、自らを育むことに力を注いでいくことを改めて自覚していただきたいと願っています。

東京大学を主な発信源とする秋入学の問題は、社会に多くの議論を巻き起こしました。しかし、これは単に入学時期の問題ではなく、大学教育そのものに対する問いかけの一部であると理解する必要があります。重要なのは教育の在り方です。

特に、学問のみならず、人類の営みのすべてを世界的レベルで考える必要がますます大きくなり、皆さん自身が、例え将来海外で活躍することが無いにしても、国際的感覚を身に付けることがより一層求められています。弘前大学としても、英語教育に力を入れ、海外の大学との交流を活性化するなど、さまざまな取組を実施していますが、最終的には、皆さん自身が自らを国際人として育てていくことが重要です。英語力を向上させることは大切なことですが、英語が堪能であることが優れたコミュニケーション能力を必ずしも担保するものではありません。皆さんには、広い視野を持って学び、広い視野をもって考え行動できる人々になっていただくことが必要です。そして、今後直面すると思われるさまざまな課題にも対応する力を養う必要があります。学生生活の中で、さまざまなことを学び、大いに力を養ってくださることを願っています。

大学のカリキュラムに沿った勉強は欠かせませんが、それだけではなく、例えば、本や新聞を読み、課外活動やボランティア活動にも積極的に参加することも大切です。それらに限らず、学友をはじめ、多くの人々と接することも必要でしょう。機会があれば、本学の制度を利用して外国留学をするのも良いかと思います。大学としてもできるだけ皆さんの支援をしたいと思いますが、あらゆる希望に応えることは難しいものがあります。皆さん自身も積極的に努力して下さるようお願いしています。

そのために重要なもう一つのことは、自分で勉強することです。皆さんの勉学は、大学のカリキュラムに沿ったものにとどまるべきではありません。皆さんは、いずれは現在の知識や技術、常識などを超えて、新しい世界を切り開いていくべき人たちです。そのことを始める時は既に皆さんの目の前にあります。自らの疑問や問題意識を持って、自ら学ぶことを是非始めていただくことを強く願っています。皆さんが社会のさまざまな場面で活躍するためにも、自ら見いだした課題について、自ら学ぶ姿勢を育む場所が大学です。私たち教職員も引き続き学び続けているのであって、皆さんと一緒に学びながら、皆さんのサポートをするのが本来の役割です。したがって、大学における教育の主役は学生の皆さんであり、主役に相応しい努力と成果をもって、やがて社会で力強く活躍する人になっていただくよう心から願っています。

弘前大学としても、皆さんの勉学をできるだけサポートすべく、今後も最大限の努力を続けたいと考えています。皆さんは、今日の入学式を機に、自ら学ぶことへの決心を新たに下さるようお願いいたします。

終わりに、今一度、今後の弘前大学における皆さんの学生生活が実り多いものになるよう祈念して、告辞と致します。

平成24年10月1日

弘前大学長 佐藤 敬

「弘前大学ボランティアセンター」を開設

10月1日（月）、本学は地域貢献、社会貢献の役割を組織的に行うために、「弘前大学ボランティアセンター」を設置しました。本センターは自治体や各種NPO等の市民団体と連携し、ボランティア活動の推進及びその支援を図ることを目指しています。

本学では、東日本大震災直後に人文学部内にボランティアセンターが立ち上がり、包括協定を締結している弘前市等と連携し、「チーム・オール弘前」として岩手県野田村で活動してきた実績があります。本センターは、これをさらに発展させ、全学的な活動とするために組織されたものであります。

当日は、大学会館2階に設けられた「弘前大学ボランティアセンター」前で、佐藤学長と大河原センター長（社会連携担当理事）により「弘前大学ボランティアセンター」の看板が上掲され、その後、大河原センター長から挨拶がありました。

引き続き、これまで人文学部ボランティアセンターが岩手県野田村で活動してきた様子がパネル展示されているボランティアセンター内で、関係者による内覧会が行われました。



看板を上掲する佐藤学長（左）と大河原センター長



パネルの前で現在までの取り組みについて佐藤学長へ説明する
李副センター長（左）

弘前大学長と新生保護者との懇談会（札幌）を開催しました

10月6日（土）、新生保護者への情報提供、連携体制の充実を図ることを目的として、弘前大学長と新生保護者との懇談会を札幌の「かでる2・7道民活動センタービル8階 820研修室」において開催し、保護者約40名の参加がありました。

懇談会では佐藤学長から、挨拶に引き続き弘前大学全体の特徴や「イングリッシュラウンジ」・「TOEIC受験料支援」等の就学支援制度、「岩谷元彰育英基金」等の経済支援制度、教員の「オフィスアワー」や「何でも相談窓口」などの相談体制、就職支援センター開設時からの本学の就職状況など多岐にわたる説明がありました。

質疑応答では、「初めて一人暮らしをさせたが、不安を感じた際に学生が相談する窓口について、始めはわからなかった」、「就職支援について4年次後期になった際も手厚い支援が欲しい」等の質問・要望がありました。

この懇談会の実施により、新生保護者の方々の本学に対する理解が深められるとともに、学外者の視点で意見・要望等を伺うことができ、今後の管理・運営の一助となりました。



新生保護者に説明する佐藤学長



懇談会の様子

名誉教授との懇談会を開催

名誉教授との懇談会が、去る10月10日（水）本学創立50周年記念会館岩木ホールで開催されました。

この懇談会は、例年10月頃開催しており、今年度は全学から名誉教授15名と大学側から佐藤学長はじめ20名が出席しました。

佐藤学長は「大学は変革が求められている。名誉教授の先生方から貴重なアドバイスを頂戴して確実に改革を進めたい。」と挨拶を述べ、続いて大学の業務実績を総括。このあと各学部・研究科長がそれぞれの学部・研究科について現況を報告しました。

名誉教授からは「本学医学科の卒業生が県内に定着する方策を強化すべき、被ばく医療及び食の安全に重点を置いた取り組みに期待している。」といった意見が出されました。

懇談会終了後は本学大学会館2階レストランスコラムへ会場を移し、昼食会を引続き開催しました。



挨拶する佐藤学長



懇談会の様子



意見を述べる二唐名誉教授（写真左）と本瀬名誉教授（写真右）



弘前大学長と新生保護者との懇談会（八戸）を開催しました

10月14日（日）、新生保護者への情報提供、連携体制の充実を図ることを目的として『弘前大学長と新生保護者との懇談会』をJR八戸駅前「ユートリー（八戸地域地場産業振興センター）5階視聴覚室」において新生保護者15名をお迎えし、開催しました。

懇談会では佐藤学長から、挨拶に引き続き弘前大学全体の特徴や「イングリッシュラウンジ」・「TOEIC受験料支援」等の就学支援制度、「岩谷元彰育英基金」等の経済支援制度、教員の「オフィスアワー」や「何でも相談窓口」などの相談体制、就職支援センター開設時からの本学の就職支援状況など多岐にわたる説明がありました。

懇談会の最後には、事前のアンケートにおいて質問があった事項に対する回答、また直接新生保護者からの質問に答えさせていただきフリー懇談の場を設け、できる限り回答させていただきました。

この懇談会の実施により、新生保護者の方々の本学に対する理解が深められるとともに、学外者の視点で意見・要望等を伺うことができ、今後の本学における就学支援等に係る管理・運営の一助となりました。



新生保護者に説明する佐藤学長



懇談会の様子

福島県浪江町町長講演会を開催

本学では、10月16日（火）、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線問題の解決のため協定を締結している福島県浪江町長 馬場有氏による講演会「震災・原発事故からの再起へ～あの3月15日遠ざかる『浪江町』の標識にはせた思い～」を医学研究科臨床講義棟小講義室にて開催しました。

講演の中で馬場町長は原発事故を受けて町民への避難指示をした当時を振り返り、「避難の際、浪江町の標識が小さくなっていくのを見て望郷の念に駆られた。3月15日は決して忘れられない日。」と語りました。また、長期化する避難生活で要介護者が増加し、「災害関連死」はこの1年7ヶ月で190名に上ること、町独自の健康管理手帳を作成し全町民へ配布したこと等を話し、「放射線との闘いは長く続く。厳しい現状を広く認識してもらい、この問題を風化させることはできない。」と聴講に集まった約130名の教職員・学生に訴えました。

参加した教職員・学生達は被災地の生の声を聞くことが出来る貴重な経験に熱心に聞き入っていました。



講演する馬場町長



講演会の様子

旧制弘前高等学校外国人教師館が 弘前市の景観重要建造物の指定を受けました

10月16日（火）、弘前市で初めてとなる景観重要建造物の指定書の交付があり、本学が所有する「旧制弘前高等学校外国人教師館」も指定されました。

弘前市役所で行われた指定書の交付式には佐藤学長が出席し、葛西憲之弘前市長から指定書が交付されました。

（交付式等の様子は弘前市提供）



葛西弘前市長から指定書を交付される佐藤学長



関係者による記念撮影



景観重要建造物に指定された旧制弘前高等学校外国人教師館

延辺大学の金蓮姫副教授による特別講演会を開催

本学は、中国吉林省にある延辺大学と平成12年8月28日に大学間交流協定校を締結して以来、学生及び教員との交流を行ってきました。

平成21年度から毎年行われている教員交流プログラム（教員の相互派遣による学術交流）により、9月25日から4週間の日程で延辺大学外国語学部日本語科の金蓮姫副教授が来学しました。

金副教授は、今回が初めての日本訪問ということで、滞在中に研究交流、教育学部及び国際交流科目を中心とした授業見学、学部の垣根を越えた学生・教職員との交流、青森市内・弘前市内の視察等、時間を惜しんで多くの交流及び経験をされました。

弘前を去るにあたり、お世話になった方々への感謝の気持ちを込めて、学生、教職員、一般の方々を対象に、教育学部主催による特別講演会を行いました。この講演会では、現在の中国における日本語教育事情、吉林省延吉市の風土や文化、日本語と朝鮮語のことわざ比較等、教科書やガイドブックではわからない中国についてユーモアを交えながら語られました。また、これまで教科書に載っていた日本とは違う生の日本に触れ、新たな発見がたくさんあったこと、特にゴミの分別が細かく、みんなルールを守って分別していることと弘前の街がきれいであることに驚かれると同時に、温かい弘前の人々の親切に触れ感動されていました。最後に、日本で肌で感じたことを延辺大学に帰って学生たちに伝えたいと力強く話され、講演を終えました。

学長を始め、約40名の聴衆は、時に驚き、感心し、また笑いながら、金副教授の流ちょうな日本語による講演に聴き入り、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれていました。



講演する金副教授



講演会の様子

弘前大学資料館のオープンセレモニーを開催

本学では、10月26日（金）、本学の歴史や各学部・研究科の研究成果を一堂に紹介する「弘前大学資料館」をオープンし、記念のセレモニーを開催しました。

本学創立50周年記念会館2階岩木ホールで行われたセレモニーでは、佐藤学長から「弘前大学の未来を考えるにあたり、長い歴史、遺産を大事にし、力強く受け継がなければならない。」との挨拶に続き、長谷川資料館長から「教職員・学生諸君に大いに資料館に来てもらい、大学の一員としての意識を育んでほしい。」との挨拶と経過説明が行われました。その後、資料館玄関前エントランス（教育学部南側1階）に移動し、関係者によるテープカット及び内覧会が行われ、オープンを祝いました。

弘前大学資料館は、「弘前大学 過去から未来へ」をテーマに前身各校の歴史をはじめ新制大学となつてからの約60年間のあゆみ、各学部・研究科毎にコーナーを設けての歴史や研究成果の紹介、海外の大学との交流の歴史、世界的な業績を挙げられた教員の紹介や歴代の弘前大学ねぶた絵を写真と3D映像で紹介するコーナーなどを設けています。



挨拶する佐藤学長



挨拶する長谷川資料館長



関係者によるテープカット



内覧会の様子

内閣府「東南アジア青年の船」参加者との意見交換会を開催

10月26日（金）、国際交流センター主催による本学学生と東南アジア青年による意見交換会が、本学大学会館において開催されました。この意見交換会は、内閣府の青年国際交流事業「東南アジア青年の船」に参加するASEAN（東南アジア諸国連合）10カ国及び日本の青年29名が、出発前の地方研修のために青森県を訪れた際に、本学が大学国際交流の一環として参加者を招待したことで実現しました。

はじめに佐藤学長の開会挨拶後、大西国際交流センター長の弘前大学概要説明を皮切りに、「コミュニティにおける青年の貢献—変化をもたらすためには何が必要か」というテーマのもと、本学からの参加者36名を含め、総勢65名が8グループに分かれて、すべて英語によりディスカッション及びプレゼンテーションに臨みました。意見交換会は和気あいあいとした雰囲気で行われ、参加者からは「お互いの共通点が理解できた」、「相手から学ぶべき点が見つかった」等、話し合いの成果が次々と報告されました。

意見交換会終了後には、グループ毎に当日キャンパス内で行われていた弘前大学総合文化祭に参加、模擬店などを楽しみ、更に交流を深めました。

外国の同年代の青年との交流を含め、国際交流の機会が少ない本学のような地方大学にとって、このような機会を提供することの意味は大きく、今後も様々な国際交流の機会を創出していきたいと考えています。



挨拶する佐藤学長



記念品贈呈の様子



記念品贈呈の様子



グループディスカッションの様子

第12回弘前大学総合文化祭 「テーマ『Supernova』」を開催

第12回弘前大学総合文化祭が10月26日（金）から28日（日）の3日間にわたり、本学文京町キャンパスで開催されました。

今年のテーマ『Supernova』は、日本語訳では「超新星」と表現されます。総合文化祭において、弘大生並びに来場者の方々の喜びや楽しさなどといったエネルギーを爆発させたい、という思いや、その爆発させたエネルギーを弘前大学だけではなく、弘前市、青森県さらには日本全国にも届けたい、より明るくしていきたい、そして弘大祭が今年の弘大祭だけで終わるのではなく、今年度以降もさらなる発展を遂げ、より新しいものへと進化していったほしい、という願いも込められています。

オープニングフェスティバルでは、集まった大勢の観客を前に総合文化祭実施委員会委員長の佐藤学長が声高らかに開祭宣言し華々しくスタートしました。

期間中は、学生主体の模擬店でキャンパスは賑わい、学生の日頃の研究成果をもとにした実習や実験を直接体験できる「サイエンスの招待」をはじめとし、様々な研究発表がありました。さらに、「爆笑お笑いライブin HIROSAKI univ.」も開催され、会場は大きな拍手と笑いに包まれました。また、教職員の芸術作品を展示した「職員芸術・造形作品展」や県内各地から計7チームが集合し、華麗な演舞を披露した「よさこい弘大」といったイベントの他に、一般来場者が参加できる「Let's enjoy BINGO!」や「大抽選会」など多彩な催しも行われました。

昨年同様、包括協定を締結している弘前市により行われた「地元産農産物販売会、りんごジュース無料試飲会」や、青森で採れた海と山の幸の紹介及び販売を行った「鱈ヶ沢物町産展フェア」にも多くの来場者が訪れていました。

本学後援会からの助成によるキャンパス内外を彩る幟、提灯も掲げられ、お祭りムードを盛り上げていました。

学生、教職員、地域住民が一体となり本学の更なる飛躍が感じられる3日間となりました。

主な催しは次のとおりです。

【全学イベント】

Opening Festival

職員芸術・造形作品展

大演奏会 in HIRODAI

よさこい弘大

Final Festival

花火

【学術文化祭イベント】

○人文学部

- ・ 亀ヶ岡文化センター特別展

『発掘 知の遺産－成田彦栄氏旧蔵資料から見た青森考古学の黎明－』

- ・ 雇用政策研究センター研究成果公開

○教育学部

- ・ スポーツフェスティバル2012 「遊びのバイキング」

- ・ 富田晃 写真展『いのり～東日本大震災で亡くなられた方々の魂に捧ぐ～』

-
- 医学研究科
 - ・最新の医療について (①心臓外科、②神経精神医学)
 - 保健学研究科
 - ・緊急被ばく医療プロジェクトに対する取り組みの紹介
 - ・市民公開講座「環境と放射線。そして食の安全」
 - 医学部附属病院
 - ・市民公開講座「子どもの心臓病」
 - 農学生命科学部
 - ・公開講座「生き物たちの生き残るくふう」
 - 地域社会研究科
 - ・地域社会研究科オープンラボ (CSK48)
 - 北日本新エネルギー研究所
 - ・新しいエネルギーで青森の未来を快適に
 - 白神自然環境研究所
 - ・白神山地の自然とその利用
 - 地域共同研究センター
 - ・産学連携特別講演会ー弘大GOGO フェンド成果発表ー
 - 学術情報部研究推進課
 - ・ひろだいサイエンス・パーク検定

【弘大祭オフィシャルイベント】

弘大カラオケコンテスト2012

看板男子コンテスト～男気爆発！観客を魅了しろ！！～

Let's play the BINGO !

☆The パフォーマンス☆

爆笑お笑いライブ in HIROSAKI univ.

看板娘コンテスト～麗しく咲き乱れよ～

Rock Festa-2012-

弘大グルメ王選手権2012

大抽選会

着ぐるみで・・・あなたの心を癒します♪

スタンプラリー2012

弘前大学ソフトボール大会2012

M(模擬店)ー1 グランプリ

【学部祭】

人文祭

教育祭

医学祭

理工祭

収穫祭



佐藤学長の開祭宣言



挨拶する佐々木実行委員長



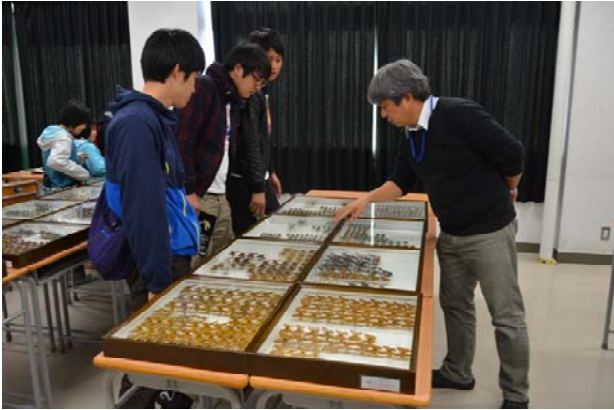
来場者で賑わうキャンパス



看板男子コンテスト



弘前大学YOSAKOI サークル「焰舞陣」による華麗な演舞



白神山地の自然とその利用



地域とともに育む大学生の就業力
—大学生のチャレンジ2012中間報告会—



弘前大学スティールパン部



邦楽愛好会



Rock Festa-2012-



Final Festival

テネシー大学マーチン校（UTM）Peggy A. Davis博士が来学

本学の姉妹校であるテネシー大学マーチン校から、Peggy A. Davis博士（教育・保健・行動科学部看護学科 助教授）が、10月22日（月）から一週間の日程で来学されました。

本学とUTMとは、昭和55年に本学初の大学間交流協定を締結しました。昭和60年からUTMの申し出により、本学教員のUTM客員教授としての派遣が開始され、昭和62年からは相互交流を実現するため、UTMからの研究者受入れを開始しました。それ以降、毎年研究者の受入れ・派遣を行っており、Peggy A. Davis博士は26人目の招へい研究者となります。今年度は、保健学研究科が受入部局となり、看護を中心とした保健学全般に係る研究交流が行われました。

Davis博士は、10月23日（火）には佐藤学長、神田副学長を表敬訪問され、テネシー大学のシステムや看護教育のプログラムについて説明すると同時に、今回の弘前大学訪問で、研究情報交換、日本の病院や高齢者看護施設等の見学により見識を深めたいと抱負を語られました。

また、10月24日（水）には「The Relationship of Sensory Impairment and Risk Factors for Falls in Long Term Care Elders（長期療養中の高齢者における感覚障害と転倒の危険因子との関連）」と題して、保健学研究科主催による特別講演会が開催されました。講演会はすべて英語で行われましたが、約60名の教職員や学生が参加し、Peggy博士の博士論文を基にした貴重な講演に熱心に耳を傾けていました。講演の最後には、活発な質疑応答が行われ、予定の時間を延長しての開催になりました。

一週間という短い滞在期間でしたが、研究交流、保健学研究科の教職員・学生との交流、県内各施設の視察を行い、週末には総合文化祭及び県内各地の名所旧跡等を見学され、充実した初めての日本訪問となりました。



学長表敬訪問（Davis博士：前列中央）



特別講演をするDavis博士

■ 諸 会 議

▼ 役員会

10月1日（月）

審議事項

- 1 弘前大学北日本新エネルギー研究所教員選考規程の制定について
- 2 弘前大学医学部規程の一部改正について
- 3 国立大学法人弘前大学の名義の使用許可に関する要項の制定について
- 4 医学研究科における寄附講座の設置について
- 5 平成25年度学生募集要項（一般入試）について

報告事項

- 1 平成23事業年度財務諸表の承認について

10月15日（月）

審議事項

- 1 弘前大学北日本新エネルギー研究所教員選考規程の制定について
- 2 弘前大学医学部規程の一部改正について
- 3 医学研究科における寄附講座の設置について
- 4 平成25年度学生募集要項（一般入試）について

報告事項

- 1 国立大学法人弘前大学の平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
- 2 国立大学のミッションの再定義に関する説明会について
- 3 国立大学法人の財務等に関する説明会について

10月22日（月）

審議事項

- 1 医学部入学定員の増加について

▼ 教育研究評議会

10月9日（火）

審議事項

- 1 弘前大学北日本新エネルギー研究所教員選考規程の制定について
- 2 弘前大学医学部規程の一部改正について
- 3 医学研究科における寄附講座の設置について
- 4 平成25年度学生募集要項（一般入試）について

報告事項

- 1 教員の人事について
(1) 教員の採用・昇任
- 2 総合文化祭の実施について
- 3 教育推進機構会議報告
- 4 教員免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会合同会議報告
- 5 委員会等報告
(1) 21世紀教育センター運営委員会
(2) 教育委員会
(3) 入学試験委員会報告

▼教育委員会

10月24日（水）

審議事項

- 1 弘前大学大学院学則の一部改正について
- 2 平成24年度弘前大学FD活動について
- 3 平成24年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施等について
- 4 卓越した学生に対する授業料免除者の選考について

報告事項

- 1 第33回全国国立大学学生指導担当副学長協議会について
- 2 平成24年度後期学期途中の学生による授業評価アンケートについて
- 3 平成25年度新入生の授業開始までの日程について
- 4 弘前大学学生表彰実施要項の改正について
- 5 岩谷元彰弘前大学育英基金の募集要項について
- 6 学長と新入生保護者との懇談会について
- 7 平成24年度前期懲戒処分について
- 8 自転車の盗難防止について
- 9 防災訓練の実施について
- 10 平成24年度秋季入学入学生料免除者の決定について
- 11 平成25年度大学院予約採用推薦数について
- 12 平成24年度日本学生支援機構奨学生追加推薦状況について
- 13 東日本大震災による被災学生への経済支援について（H24年度追加分）

新任部局長等紹介

【平成24年10月1日発令】



資料館長
ハセガワ セイイチ
長谷川 成一
人文学部教授

新任教授紹介

【平成24年10月1日発令】



教育学部
トヨシマ アキヒコ
豊嶋 秋彦
配置換
前職:教育学部附属
教育実践総合センター教授



保健学研究科
オダ アツシ
尾田 敦
昇任
前職:保健学研究科准教授

【平成24年10月16日発令】



医学研究科
ササキ ヨシヒロ
佐々木 賀広
昇任
前職:医学部附属病院准教授

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月1日		小泉 佑介	一般職員(財務・財管)
平成24年10月1日		尾崎 拓	助教(医) [25.03.31まで]
平成24年10月1日		脇屋 太一	助教(病院) [29.09.30まで]
平成24年10月1日		山本 勇人	助教(病院) [29.09.30まで]
平成24年10月1日		飯野 香理	助手(医) [29.09.30まで]
平成24年10月1日		杉山 尚樹	助手(病院) [29.09.30まで]
平成24年10月1日		高田 典和	助手(病院) [29.09.30まで]

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月2日		今 夏 希	教諭(教育・附特) [25.03.31まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月1日	総務グループ係長(理工)	田澤 誠	室長補佐(施設・本町)
平成24年10月1日	総務グループ主任(財務・財企)	花田 耕	総務グループ係長(財務・財企)
平成24年10月1日	准教授(保)	尾田 敦	教授(保)
平成24年10月1日	助教(医)	佐々木 亮	講師(病院)
平成24年10月1日	助手(保)	會津 桂子	助教(保)
平成24年10月1日	助手(保)	倉内 静香	助教(保)
平成24年10月1日	助手(保)	北島 麻衣子	助教(保)
平成24年10月16日	准教授(病院)	佐々木 賀広	教授(医) [34.10.15まで]

[降任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月1日	主任臨床検査技師(病院・医支)	熊谷 生子	臨床検査技師(病院・医支)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月1日	予算グループ係長(財務・予企室)	工藤 公樹	総務グループ係長(財務・財企)
平成24年10月1日	予算グループ係長(財務・予企室)	小野 賢	契約グループ係長(財務・契約)
平成24年10月1日	総務グループ係長(財務・財企)	成田 聡	予算グループ係長(財務・財企)
平成24年10月1日	経理グループ係長(財務・財管)	粕谷 常好	学生支援グループ係長(学務・学生)
平成24年10月1日	学生支援グループ係長(学務・学生)	小山内 英子	就職支援グループ係長(学務・就職)
平成24年10月1日	学生支援グループ係長(学務・学生)	長内 悟	施設整備・管理グループ係長(施設・整計)
平成24年10月1日	契約グループ係長(財務・契約)	須田 誠一	総務グループ係長(理工)
平成24年10月1日	総務グループ主任(財務・財企)	右京 達也	経理グループ主任(財務・財管)
平成24年10月1日	就職支援グループ主任(学生・就職)	工藤 久美子	企画管理グループ主任(学情・学情)
平成24年10月1日	一般職員(病院・経調)	横山 翔	一般職員(財務・財企)
平成24年10月1日	一般職員(財務・財管)	奈良 雅樹	一般職員(財務・財企)
平成24年10月1日	一般職員(学情・学情)	高橋 真道	一般職員(病院・経調)
平成24年10月1日	教授(教育・実践)	豊嶋 秋彦	教授(教育)
平成24年10月1日	助教(病院)	井上 卓	助教(医) [29.09.30まで]

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月1日	教授(教育)	浅野 清	弘前大学教育学部副学部長 [26.03.31まで]
平成24年10月1日	教授(人文)	長谷川 成一	弘前大学資料館長 [26.03.31まで]
平成24年10月1日	講師(病院)	佐藤 研	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	教授(病院)	奥村 謙	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	准教授(医)	玉澤 直樹	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	准教授(医)	石橋 恭之	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	准教授(医)	川崎 仁司	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	講師(医)	目時 友美	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	講師(病院)	南場 淳司	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	講師(病院)	松崎 康司	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	講師(病院)	菊池 淳宏	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	助手(医)	敦賀 和志	弘前大学学校医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	准教授(医)	小林 恒	弘前大学学校歯科医 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	薬剤主任(病院)	下山 律子	弘前大学学校薬剤師 [25.03.31まで]
平成24年10月16日	教授(医)	佐々木 賀広	弘前大学医学部附属病院医療情報部長

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月1日	課長補佐(総務グループ) (財務・財企)	三上 徹	総務グループ係長(財務・財企)
平成24年10月1日	准教授(理工)	岩谷 靖	男女共同参画推進室室員
平成24年10月1日	講師(病院)	佐藤 研	弘前大学学校医
平成24年10月1日	教授(病院)	奥村 謙	弘前大学学校医
平成24年10月1日	准教授(医)	玉澤 直樹	弘前大学学校医
平成24年10月1日	准教授(医)	石橋 恭之	弘前大学学校医
平成24年10月1日	准教授(医)	川崎 仁司	弘前大学学校医
平成24年10月1日	講師(医)	目時 友美	弘前大学学校医
平成24年10月1日	講師(病院)	南場 淳司	弘前大学学校医
平成24年10月1日	講師(病院)	松崎 康司	弘前大学学校医
平成24年10月1日	講師(病院)	菊池 淳宏	弘前大学学校医
平成24年10月1日	助手(医)	敦賀 和志	弘前大学学校医
平成24年10月1日	准教授(医)	小林 恒	弘前大学学校歯科医
平成24年10月1日	薬剤主任(病院)	下山 律子	弘前大学学校薬剤師
平成24年10月16日	教授(医)	佐々木 賀広	弘前大学医学部附属病院医療情報部副部長

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月1日	一般職員(財務・財企)	島田 裕介	期間更新 [24.11.30まで]
平成24年10月1日	助教(医)	竹内 侯雄	休職開始 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	助教(病院)	松木 恒太	休職開始 [26.09.30まで]
平成24年10月1日	看護師(病院・看護)	内山 美穂	期間更新 [24.10.31まで]
平成24年10月2日	教諭(教育・附特)	宮本 美穂	期間更新 [25.03.31まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月1日	看護師(病院・看護)	村山 麻由香	育休開始 [25.03.31まで]
平成24年10月1日	助教(医)	鈴木 香	復帰
平成24年10月1日	看護師(病院・看護)	駒井 裕紀子	復帰
平成24年10月1日	看護師(病院・看護)	村川 扇与子	復帰
平成24年10月12日	教諭(教育・附特)	坂本 裕子	育休開始 [26.03.31まで]
平成24年10月30日	看護師(病院・看護)	高松 阿里沙	育休開始 [26.03.31まで]

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年10月31日	助教(病院)	横井 由美子	辞職

■ 主要日誌

- 10月1日 役員会
弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式
ボランティアセンター開所式
- 6日 弘前大学長と新入生保護者懇談会（札幌）
- 9日 教育研究評議会
- 10日 名誉教授との懇談会
- 14日 学長と新入生保護者懇談会（八戸）
- 15日 役員会
- 22日 役員会
- 24日 教育委員会
- 26日 弘前大学資料館オープンセレモニー
総合文化祭
- 27日 総合文化祭
- 28日 総合文化祭

■ 学内規則等の制定等

(平成24年10月17日改正)

○弘前大学医学部規程

保健学科検査技術科学専攻において、カリキュラムの点検及び各授業科目の見直しを行い、寄生虫学関連の科目を削除し、併せて卒業所要単位を変更するため、上記の規程の一部を改正した。

(平成24年10月17日制定)

○弘前大学北日本新エネルギー研究所教員選考規程

北日本新エネルギー研究所の教員の選考について必要な事項を定めるため、上記の規程を制定した。

弘前大学学報第103号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111